

# 東日本大震災が東北地域の企業生産にもたらした影響分析 —燃料部門の影響を中心に—

林 健太郎<sup>1</sup>・武藤 慎一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>山梨大学大学院

E-mail: g11mc015@yamanashi.ac.jp

<sup>2</sup>山梨大学大学院

E-mail: smutoh@yamanashi.ac.jp

東日本大震災は甚大な被害をもたらしたが、発生から1年半が経過し、震災がどの程度企業の生産を低下させたか、データに基づく実際の状況が把握可能な状況にある。本研究は、まず東北経済産業局が提供している東北地域の鉱工業生産指数を分析し、震災以降の生産量の落ち込みとその回復について整理する。その中では、特に石油製品の落ち込みが顕著であることがわかった。次に、そうした実際の生産量の変化が、著者らが行った応用一般均衡（CGE）分析の結果と適合するかを検討したところ乖離がみられた。そこで、石油製品すなわち燃料部門の被害分析を中心に、より正確な評価が行えるようにCGEモデルの精緻化を行うことが本研究の目的である。

キーワード：東日本大震災，鉱工業指数，CGE 分析